

27日 水曜

マラキ



3:1 「見よ。わたしは、わたしの使者を遣わす。彼はわたしの前に道を整える。あなたがたが尋ね求めている主が、突然、その神殿に来る。あなたがたが望んでいる契約の使者が、見よ、来ている。」と万軍の主は仰せられる。

3:2 だが、この方の来られる日に耐えられよう。だが、この方の現われるとき立っていられよう。まことに、この方は、精練する者の火、布をさらす者の灰汁のようだ。

3:3 この方は、銀を精練し、これをきよめる者として座に着き、レビの子らをきよめ、彼らを金のように、銀のように純粋にする。彼らは、主に、義のささげ物をささげる者となり、

3:4 ユダとエルサレムのささげ物は、昔の日のように、ずっと前の年のように、主を喜ばせる。

3:5 「わたしは、さばきのため、あなたがたのところに近づく。わたしは、ためらうことなく証人となり、呪術者、姦淫を行なう者、偽って誓う者、不正な賃金で雇い人をしいたげ、やもめやみなしごを苦しめる者、在留異国人を押しつけて、わたしを恐れない者たちに、向かう。・・・万軍の主は仰せられる。・・・

3:6 主であるわたしは変わることがない。ヤコブの子らよ。あなたがたは、滅ぼし尽くされない。

「この方」とは「わたしは、さばきのため…」とおっしゃるイエス様、神の子のことです。ですから使者とはイエス様を民に紹介したバプテスマのヨハネのことです。このイエス様は「さばきのに」来ら

れるというのですが、しました「変わることがない」という神様の愛で、ヤコブの子らであるイスラエルは「滅ぼし尽くされない」とも、神は言われます。

イエス様の十字架とはこのように驚くべき内容を持ったものです。十字架の身代わりは人類を道連れにしようとするサタン計画の粉碎であり、よみがえりは死への現実的な勝利です。そして十字架によって備えられた救いの道は、また受け入れない者へのさばきのための備えともなりました。

イエス様は救い主であられるとともに、さばき主であるということを忘れないようにしましょう。それは恐怖心を持つためではなく、「あなたがたは、滅ぼし尽くされない」と、「変わらない」愛を持って、赦しきよめてくださるそのみこころを真剣に受け止めるためです。

イエス様の愛に対して真摯な心を持ち、真摯な生き方をしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

